

市議会だより おおだ

No. 47

2017(平成29)年4月20日発行

3月定例会 3月6日~24日

- 大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を軸に!
平成29年度一般会計予算 P2
- 子育て関連事業を中心に9人が市政を問う P10
- 議会報告会を開催します! P16



春を感じながらお弁当を食べる園児
(サシチヤイル長久さおむすび園)

編集・発行
大田市議会

〒994-0064 鳥根県大田市大田町大田口1111 TEL:0854-82-1600 FAX:0854-82-9927
<http://www.city.onda.lg.jp/> E-mail: o-gikaijimmu@iwamigin.jp

3月定例議会は一般会計、特別会計の平成29年度当初予算のほか、平成28年度補正予算、条例の制定、一部改正、一般案件を慎重に審議した結果、全議案とも原案どおり可決しました。



創生総合戦略を中心に!

石見銀山遺跡世界遺産登録10周年の節目の年



石見銀山遺跡世界遺産登録10周年事業

2億5,300万円

232億900万円(対前年度当初比0.9%増)

健康まちづくりを新たな施策に



ヘルスツーリズム(三瓶山にて)

健康まちづくり事業 1,600万円



国立公園満喫プロジェクト

2,100万円

3月 定例市議会

平成29年3月6日(月)～3月24日(金)

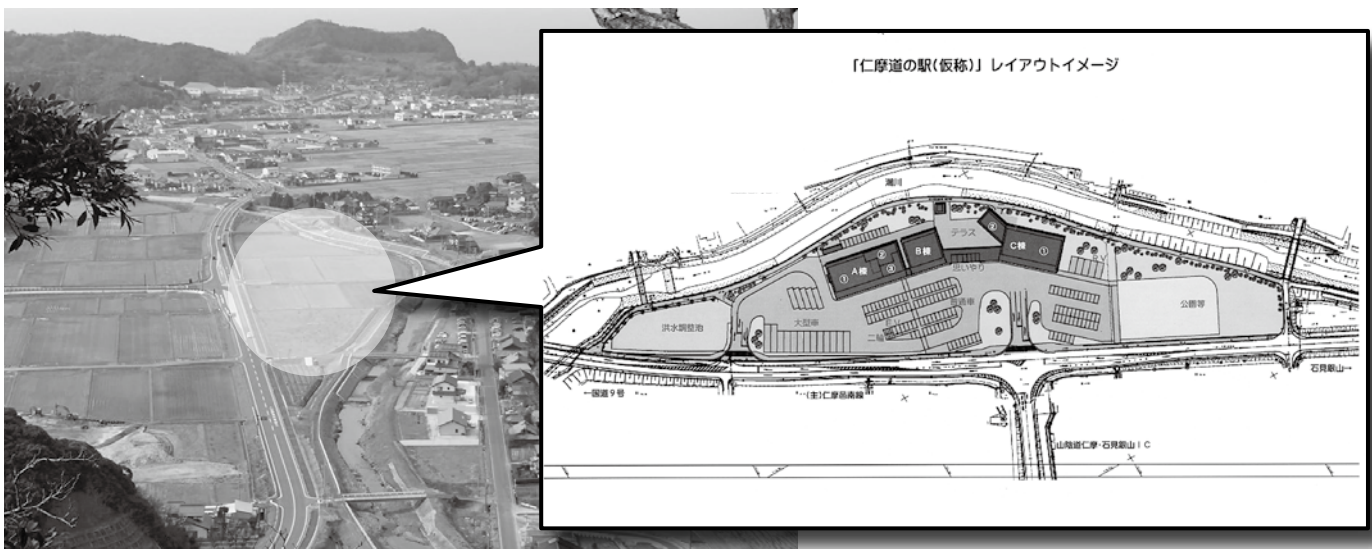
平成29年度当初予算案など
原案どおり可決

本年度も、大田市まち・ひと・しごと



大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業 **18億100万円**

平成29年度一般会計予算



仁摩地区道の駅整備事業 **2億2,100万円**

3月定例市議会で審議された平成29年度一般会計予算 主な新規・拡充事業～大田市総合計画 施策体系別～

地域資源のネットワークによる活発な産業づくり (産業振興)

中心市街地活性化調査事業	310万円	中心市街地活性化基本計画の策定に向けた事前調査
石見の国おおだ観光振興事業	3,493万円	石見銀山遺跡をはじめ、三瓶山や温泉津温泉などの観光資源を有機的に結び付ける中で、効果的な事業展開、情報発信を行う



だれもが住みよく、安心・やすらぎを感じる生活づくり (保健・医療・福祉)

民間保育所施設整備支援事業	1億139万円	保育環境改善のため、社会福祉法人が行う民間保育所の施設整備に対して支援を行い、保育環境の改善を図る
がん検診事業	3,547万円	がんの発症予防と早期発見、早期治療に向け、各種がん検診の受診率の向上を図り、がん死亡減少を目指す



県央の中核都市にふさわしい、快適な基盤づくり (基盤整備)

都市公園整備事業	6,944万円	都市公園長寿命化計画に基づき公園施設の計画的な更新、改築、修繕の実施
街路整備事業	7,500万円	市街地の東側幹線である米町高禅寺線の菜洗橋(L=43.8m)について、架け替え工事を実施する



自然との共生や循環型社会を目指す生活環境づくり (生活環境)

琴ヶ浜環境保全事業	644万円	鳴り砂の浜琴ヶ浜海岸の持続的な保全を、地域住民との協働により、効果的かつ円滑に進めるためビーチクリーナーを導入する
次期可燃ごみ処理施設整備に係る負担金	7,611万円	次期可燃ごみ処理施設の施設建設等に係る経費について、事業主体となる邑智郡総合事務組合への負担金



人事議案

▼副市長の選任につき同意を求めること



副市長
清水 克典

青木裕志副市長が平成29年3月31日をもって辞職のため、新たに清水克典氏(松江市(久手町出身))を選任することについて同意を求めたものです。全会一致で同意しました。

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

現委員である友村光男氏(温泉津町)の任期が本年6月30日満了のため、後任として新治弘念氏(温泉津町)を推薦することについて、意見を求めたものです。任期は3年です。異議なく同意しました。

皆さんからの請願

【継続審査】

▼年金の毎月支給を求める意見書採択方

(請願) 民生委員会所管

(請願者) 全日本年金者組合島根県本部大田支部

支部長福田隆昌

(内容) 年金の隔月支給を、国際水準並みに毎月支給に改めよう。

全員協議会の議題

～議案の審査または議会の運営に関し協議・調整をおこないます～

2月13日

・ 邑智郡総合事務組合との可燃ごみ共同処理

2月24日

・ 大田市総合計画後期計画(改訂版)

・ 大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部見直し

・ 大田市立地適正化計画の策定

・ 大田市土地開発公社の解散

3月6日

・ 「石見銀山遺跡とその文化的景観」世界遺産登録10周年事業

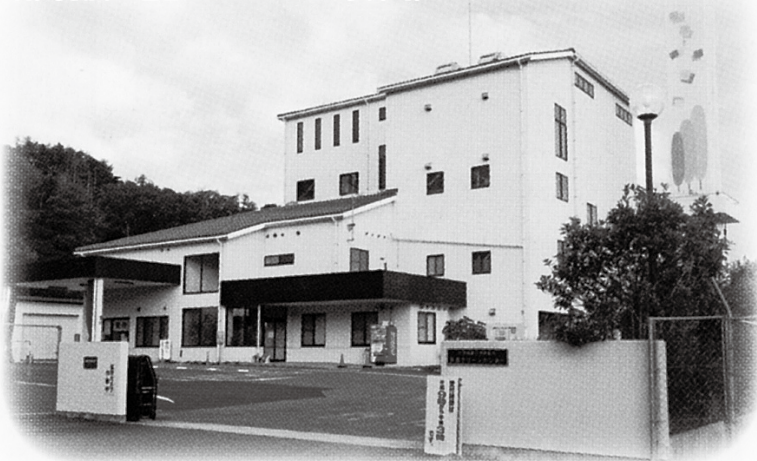
・ 大田市公共施設適正化計画基本方針

・ 第2次大田市産業振興ビジョン

3月13日

・ 仁摩地区道の駅整備事業
・ 大田市教育ビジョン基本計画
・ 上下水道事業の経営戦略策定

現在使用中の邑智クリーンセンター(川本町)



平成29年度一般会計予算 討論 ~要旨



森山 明弘 議員



財源不足の中、歳出全般の効率化を押し進めた予算編成となっている。賛成の立場から、意見を述べる。

①「大田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に盛り込まれた施策に基づく事業として、健康保養都市おおだプロジェクト、乳幼児医療給付事業、定住促進事業、健康まちづくり推進事業など、それぞれ4つの基本目標に沿った有効な事業として大いに期待する。

②「石見銀山遺跡世界遺産登録10周年事業」は、7月2日の登録記念日に10周年記念式典、記念フォーラムの開催、オペラ石見銀山支援事業など、節目の絶好の機会を活かし観光客大幅増を期待する。

③「国立公園満喫プロジェクト」は、「大山隠岐国立公園ステップアッププログラム2020」に基づく、三瓶エリアの周遊性

向上のため、受入れ環境整備とブランドイメージを向上、定着させる事業であり、飯南町、美郷町と密接な連携を図りながら推進していくことを求める。

④「大田市立病院」は、平成29年度から新築工事に着手される予定となっている。着実に実施されたい。

総合医療学講座の開設・総合医育成センターの設置は、整形外科医の複数確保に向け大いに期待できる。

⑤「次期可燃ごみ処理施設整備事業」は負担金を拠出する中で邑智郡総合事務組合と共同で、川本町で整備するもの。単独事業でないため、邑智郡総合事務組合との緊密な連携を図りながら堅実な事業実施を求める。

市民のくらしを守るための予算が、あまりにも不十分であるため、次の6点について反対する。

①職員定数削減など総人件費の抑制によって、職員の士気や組織の活力が低下している。市民サービスの低下にもつながる。職員削減は中止し、正規職員をはじめ臨時職員、嘱託職員の労働条件を改善させることを強く求める。

②住民税や社会保険料を滞納した低所得者に対する取り立てが行われている。生活の困窮する市民の生活再建にこそ、力を注ぐべき。

③仁摩地区道の駅整備事業では、山陰道との一体型でないと、国交省からの支援がほとんどない。販売や企画、流通、宣伝など運営に必要なスキルをもった駅長

は、これから公募するとし、予定している人材はいないとのこと。健全経営が困難であり、決まったことが何もない中でのGOサインはできない。

④農業担い手支援センターなど農業分野について、価格保障と所得補償を充実すること。

⑤次期可燃ごみ処理施設整備に係る負担金については、事業主体となる邑智郡総合事務組合への負担金であり、議会としては報告しか受けられない。市民の出した可燃ごみの最終処理に責任がもてない。

⑥行財政改革での無償貸し付けの土地の有償化について、平成29年度から福祉施設の土地が有償化となり、保育園、障がい者施設、老人福祉施設が対象となる。弱い立場の人たちへの負担増は許されない。



大西 修 議員



石見銀山遺跡世界遺産登録10周年100日前イベントに参加

モニュメント除幕式

平成29年7月2日、「石見銀山遺跡とその文化的景観」が世界遺産登録されてから10年目の節目を迎えます。その100日前となる3月24日(金)に、100日前イベントのスタートとして、モニュメントの除幕式が行われました。



リニューアルした世界遺産センターを見学



公開範囲が拡大された大久保間歩を見学

～坑口から160メートルだった公開範囲が奥部へ15メートル拡大!

5メートル程の段差に階段を設置し、福石場(ふくいしば)とよばれる、高純度で高品質な銀が豊富にあった場所までの見学経路が設けられました。



議案名等	議員名等	議決結果	賛 対 成 等	木村幸司	森山幸太	胡藤田弘孝	森山明弘	小川和也	三浦靖	石田洋治	松村信之	小林太	松葉昌修	河村賢治	林茂樹	大西修	月森和弘	塩谷裕志	有光孝次	福田佳代子	石橋秀利	清水勝	内藤芳秀	
																								賛 対 成 等
■市長提出議案																								
議案第345号	大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第346号	大田市廃棄物の処理及び再生利用等の促進に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	17：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第347号	大田市共同作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第348号	大田市工場立地法準則条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第349号	大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第350号	大田市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第351号	大田市部設置条例等の一部を改正する等の条例制定について	原案可決	17：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第352号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第353号	呂智郡総合事務組合への可燃性一般廃棄物処理に関する事務の委託について	原案可決	14：5	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第354号	財産の無償譲渡及び無償貸付けについて	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第355号	大田市民会館の指定管理者の指定について	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第356号	大田市土地開発公社の解散について	原案可決	11：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第357号	副市長の選任につき同意を求めることについて	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第358号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第359号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	原案可決	19：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
■ 請願																								
請願第3号	年金の毎月支給を求める意見書採択方について	継続審査																						
議会閉会中の継続審査（民生委員会付託）																								

※ 定数20名、うち議長（内藤芳秀）は採決に加わりません
 ※ ○は賛成 ●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）
 ※ 除は除斥（当該議員の一身または利害関係のある議案のため採決等議事には加わりません）

いっぱん質問



市政に対する一般質問は、3月9日、10日に行われ、9人の議員が執行部の考えをたどしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会で選定し、1人1議題としています。(内容は、ホームページ(<http://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)

▲春うららひなまつり 大田商工会議所女性会(大森町にて)

10月の市長選への出馬意向は

4期目に向け不転の決意で臨む



塩谷 裕志 議員

答弁

新生大田市の初代市長に就任して以来、はや11年5カ月が経過した。この10数年、地方分権改革は一層本格化し、地方交付税が大幅に減額となるなど、財政問題が自治体経営の根幹を揺るがす事態となる中、行財政改革を断行するとともに、人口減少問題を最重要課題として取り組んできた。

市政運営においては、決して守りに終始することなく、積極的にチャレンジしたことが、石見銀山の逆転による世界遺産登録実現や総合医療学講座開設等による地域医療再生への前進につながったと自負している。

残された課題が山積している中、健康まちづくりを市政推進の大きな柱として、引き続き新たな時代の大田市づくりにチャレンジしよう」と決意し、4期目に向け不転の決意で臨む。



▶竹腰市長

質問

3期目の竹腰市政も、任期となる10月まであと半年。これまで石見銀山遺跡の世界遺産登録や、公共施設の耐震化、充実した子育て支援策、基盤整備、防災施設の充実など実施してこられた。また、現在、新大田市立病院や可燃物処理場、道の駅の整備など着々と進められておられ、今後4年間は大事な時期である。

市長が提唱している「持続可能なまちづくり」での行政の役割は重要であり、将来を担う次世代につなげる大きな責務がある。

そこで市政を一番熟知しておられる市長に、市長選挙に向けての意向を伺う。

就学援助制度の拡充を

支給時期については、来年より一部対象者においては早まる



福田 佳代子 議員

の単価改定については、今回、国から改定通知が届いたのが、本年2月1日であった。当初の予算編成には間に合わず、改定前の単価で予算編成した。今後、改定後の支給時期、支給金額について検討する。また、県内の他市町村も同様の状況で、検討している。

新入学児童生徒学用品費等の支給時期は、まず、中学校へ進学する児童を対象に、年度内支給できるよう、新年度予算案に盛り込んでいく。従って、来年、平成30年の4月に中学生となる児童から、進学前の3月に支給できる。

質問

憲法26条は、「義務教育は無償」としている。就学援助制度は、小中学生がいる家庭に学用品費や入学準備金、通学用品費、給食費などを支給する制度で市町村が実施し国が2分の1を補助する。

平成29年度、国の制度改定で要保護児童への入学準備金が、小中学生とも増額になるので、要保護児童も増額して欲しい。また、入学準備金の支給を入学式までに支給するなど早めてほしい。所見を伺う。

答弁

要保護児童生徒に対する、新入学児童生徒学用品等



小学校の授業風景

特養待機者のために、施設整備と介護職員の処遇改善を求む

新たな施設整備は行わず、介護職員処遇改善に取り組む



大西 修 議員

ホームの整備や、在宅サービスの充実により、当市の要介護3以上の待機者は160人と減少傾向にある。特養の施設整備は一定の水準を確保しており、新たな整備は行わず、今後については、次期7期介護保険事業計画の中で判断していく。

介護職員の処遇改善は、平成24年、27年の介護報酬改定で介護報酬の加算と、雇用管理、労働環境の改善に取り組む事業所を対象に、月額平均1万2000円相当の上乗せが行われた。平成29年度の改定では、賃金格差の観点から、月額1万円相当の上乗せが予定されている。

質問

重度の要介護者を自宅ですることは、介護者の負担感が大きい。お金がかかってもどこか入所できるところはないかと、施設志向は強い状況である。特養などの施設整備が必要かと思いが所見を伺う。

また、介護職員の処遇改善は、平成27年にも取り組まれている。国では平成29年は月額1万円増やそつとしているが、大田市はどうなるか。

答弁

平成27年4月より原則要介護認定3以上となり、在宅を続ける要介護者が優先的に入所できるよう見直した。併せて有料老人



介護老人福祉施設サントイス双葉園

温泉津・仁摩支所への今後の対応は

地域振興をさらに強化できる組織に変容する



林 茂樹 議員

リズムの中心拠点の一つとして、観光資源の活用、さまざまな産業振興の推進など地域活性化に努める。
②まちづくり委員会やまちセンの活動に対する予算の考え方は、活動交付金である。また、団体には、手挙げ方式でソフト、ハード事業に支援している。支所に裁量権を付与するというものではなく、全庁的に取り組むべきものである。

質問

支所の在り方とまちづくりの方向性を昨年12月に示された。今後の対応方について次の2点を伺う。

- ①支所をそれぞれ地域振興センターに名称を変更されるが、今後のまちづくりをする上での戦略ならびに将来ビジョンを伺う。
- ②それぞれのセンターに、まちづくりにおける予算裁量権が与えられないのか伺う。

答弁

仮称ではあるが、地域振興センターとし窓口業務は継続し、まちづくり活動がより推進できる体制に再編する。

- ①大田市版クアオルトやヘルスツー



◀温泉津支所

◀仁摩支所

子ども・子育て支援事業計画の進捗状況は

民間移行については、方向性を明確にし、認定こども園への移行については、検討していく



三浦 靖 議員

に難しい。指定管理、あるいは民営化もあわせ検討しながら方向性を明確にしたい。

認定こども園への移行について、保育所所管としては、運営が難しいという問題もあるが、子育て支援課を中心に、民間事業者とも相談し協力していく。幼稚園所管においては、認定こども園の設置に向けた具体的な検討をしながら、策定中の教育ビジョン基本計画に盛り込む予定としている。

質問

老朽化が著しい公立保育所の施設整備は、国からの財政的支援が厳しいため大幅に遅れている。保護者が民間施設との不公平感を抱かないためにも、早期に民営化へ移行し、民間活力で施設整備を行うべきではないか。

また、幼保一元化の認定こども園へ移行することも有効な手段と考えるがいかがか。

答弁

公立の保育園は非常に老朽化が進んでいるのは確かである。特に支障のある箇所については、リストアップしながら年次的に改修を進めている。公立保育園を整備することは、今の財源措置の中では非常



▲水上保育園

高齢者の新たな通いの場づくりの 実施拡大の方策は

大田市社会福祉協議会と連携し、 説明会や研修会を開催する



胡摩田 弘孝 議員

事業の成果としては、介護予防体操を定期的に実施することで運動機能が向上するとともに、趣味、関心に応じた活動等を実施することにより介護予防の推進が図られてきている。

今後の実施地区拡大の方策については、全体のコーディネーターを委託している大田市社会福祉協議会と連携し、地域住民の方々への理解と協力が得られるよう、説明会や研修会を継続して開催するとともに、実施の意向がある地域に対して相談、支援を行う。

質問

介護予防事業の一環として「高齢者の新たな通いの場づくり事業」が市内5カ所でモデル事業としてスタートした。

今後は、モデル事業から本格実施に向けて市内全域に広がっていくことが必要となるが、これまでの取り組み内容や事業の成果、実施拡大の方策について伺う。

答弁

高齢者の通いの場づくりモデル事業は、平成28年11月に川合地区から開始し、波根地区、湯里地区、久利地区、井田地区の計5カ所で実施しており、利用者数は平均して20名ずつとなっている。



▲高齢者の通い場(久利町)

市長の施政方針並びに 提案理由趣旨を問う

まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、 さまざまな角度から産業振興施策を進めていく



清水 勝 議員

一億総活躍社会の好循環は地方の自治体には及んでいない。

質問

- ①大田市域の経済再生・活性化には雇用環境を改善し、消費購買力を高めるべきである。働き方の見直し政策を求める。
- ②都市計画税の廃止論から4年が過ぎた。公平・公正性、不均一感を払拭して欲しい。改選期になったので一層求める。
- ③ふるさと納税は、過度な返礼品競争が生じている。当市の返礼品率は、全国平均43%に比べ高く、改めるべきではないか。

答弁

- ①市内各事業所の雇用や労働環境の整備については、基本的にはそれぞれの事業所の経営判断に委ねられると認識しているが、働き方改革実現会議の議論や労働法制の改正状況などを見守りつつ、市として何ができるのか検討していく。
- ②新たに用途地域となった区域内に所在する土地、建物については課税しないという条例改正を可決いただいたところであり、現時点では都市計画税を見直しするという時期ではないと判断している。
- ③ふるさと納税制度は貴重な財源確保策である。また特産品や大田市を全国にPRできる有効な手段であるため、今後も大田市の特色を生かした特産品づくりを促進し、寄附金の獲得に向けてなお一層取り組みを進めていく。



▶ふるさと納税のお礼の品の一例

持続可能なまちづくりとは

地域の主体性、自主性を尊重し、地域の皆さんが参画する形で進めていくことが大切



小林 太 議員

地域産業の振興、定住対策の促進に取り組むことが必要であると考えています。

取り組みについては、地域の主体性、自主性を尊重し、地域の皆さんが参画する形で進めていくことが大切であり、運営を支える担い手の確保が重要である。

財政支援については、組織づくりや計画策定に取り組む地域に対し、先進地視察や研修会の開催、アンケート調査などのソフト面の経費助成を計画している。

質問 人口減少が続く中山間地域を有する大田市において、生活基盤の維持が喫緊の課題となっている。持続可能なまちづくり(大田市版小さな拠点づくり)ではどのような機能が必要でエリアはどこか。またその仕組み、連携、担い手はどのように考えるか。そして、地域住民が関わっていく拠点づくりの手順と中心となる組織は何か。

答弁 持続可能なまちづくりは、エリアとしてはまちづくりセンター単位を基本と考え、今後安心して住み続けることができるまちを目指している。そのための施策として生活機能の確保、生活交通の確保、

新年度からは、まちづくり支援スタッフが地域に入り、組織・計画づくりを地域住民とともに進め、地域自治組織(仮称)などの組織化に努力していく。



▲2月17日開催された地域福祉研修会

子育て応援アプリ(自治体アプリ)を活用した情報提供施策の導入を

ICTの総合的な利活用を検討する



石田 洋治 議員

あると思う。今後様々なメディアが普及していく中、ICTの総合的な利活用に向けて子育て応援アプリも含めて検討する。

②子育て世代への情報伝達は、4ヶ月健診時の子育てガイドの配布や小・中学校での就学援助の案内などや市のホームページ、広報、フェイスブックなど周知に努めている。市民課と福祉各課の窓口で福祉サービス案内などをやっている。また税金の控除申告や福祉医療の申請など、必要があれば関係窓口につながる取組みを行っている。

質問

昨今、子育て家庭の家族形態や就労形態が多様化する中、保育だけでなく、様々な形の子育て支援が求められている。そのような中、スマートフォンを活用した支援事業を行っている自治体もあり、注目を集めている。大田市における子育て世代への支援策などの情報提供施策について所見を伺う。

①子育て応援アプリの開発、導入
②貧困で悩む子育て世代への支援情報の伝達方法

答弁

①スマートフォンは子育て世代に多く利用され、子育て支援の情報を取得できる点で有効で



▲子育て応援アプリ

行財政改革特別委員長

中間報告

現状把握をしっかりと



松村 信之 委員長

12月定例会で委員長報告を行った後、第7回委員会を開催。その報告をみる。

◆事務事業評価における執行部の見直し方針に対する意見

「自営光網設備等管理費、音声告知放送利用料等補助事業での見直し方針について関係団体と協議する。」

「子ども医療費助成事業については、関係課と連携しよう。」

この見直し方針が示されたが、関係団体や関係課とどのような協議をするのか分かりにくいので、もう少し明確にし、行革推進室としての考え方を盛り込んだ上で、再度方針を示してもらいたいとした。

◆大田市公共施設適正化計画基本方針(案)

公共施設の管理及び利活用の仕組みを、公共施設総合計画に基づき策定する。第1期計画は、平成28年～平成33年までの6年間の計画で、平成29年度中に策定する。

目標として、保有する公共施設の総延床面積を、30年間で30%以上削減する計画。

(委員より)

- ・市民への説明をしっかりしてほしい。
- ・施設の削減により住民サービスの低下を招かないようにしてほしい。
- ・施設の現状を把握するのが先決である。

◆執行部の回答

平成29年度は、利用団体に積極的に出かけて行き、理解を求める。

更新投資額と削減金額は総合計画と比べ10%の差異があるが、予防保全処理や効率化により経費を縮減していく。空き校舎は全国公募という考え方も検討したい。

行革・施設管理推進室と担当課が協議・合議を必ず行うという形にしたい。有利な財源ありきではなく、この施設を本当に今後どうするのか、必要最低限でできるのかを含め、この推進室と施設担当課が連携を密にこし進めようとの強い思いを伝えたい。

地域活性化調査検討

特別委員長 中間報告

まずは、各地域の課題、取り組みの把握を



塩谷 裕志 委員長

9月定例会で委員長報告を行った後、2回の委員会を開催。その協議内容及び主な意見等について報告をする。

◆第3回(10月28日)

執行部より次の3点について現状説明を受け、意見交換・協議をした。

◆市内の地域交通の現状と今後

- ・井田地区のデマンドバス、市営バス、スクールバスの相互調整
- ・市内循環バス運行での路線の集約
- ・運行経路の見直しによる効率化

◆定住対策事業の現状と今後

- ・雇用促進住宅の活用
- ・空き家バンクの売買と賃貸の状況と今後

◆各地域の課題、取組みの把握(意見聴取)

地域ごとに活性化策や地域課題には

違いがあり温度差もある。一律の意見聴取は避けるべきである。

◆第4回(2月7日)

関係職員出席のもと、次の2点について現状説明を受け、意見交換・協議をした。

◆各まちづくりセンターのまちづくり活動・取り組みの現状

・まちづくり推進協議会の体制と、活動財源について

◆地域課題の絞込み、今後の進め方(意見聴取)

- ・地域ごとに違いはあるが、持続可能なまちづくりのためには、生活機能の確保、地域交通、地域産業などが、取り組むべきポイントである。

◆今後の進め方

・各ブロックごとのまちづくりセンターと意見交換会を実施し、関係者から現状の取組み、問題点、並びに今後の地域課題についても意見交換を行う。



▲浦泉津まちづくり委員会主催の「まちづくり」浦泉津町小浜の

『開かれた議会づくりを推進!』
『市民の皆様と自由に意見交換をするため』

議会報告会を開催します!

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成24年度から実施しております議会報告会を、今年度も下記の日程で開催します。総務教育委員会、民生委員会、産業建設委員会の各常任委員会ごとに、3月市議会定例会での当初予算審議状況や、現在事業として進めている「道の駅」「新病院建設」等について報告いたします。議会を身近に感じていただける機会です。是非お出かけください!

日時・会場

開催日はいずれも**5月20日(土)**です。

場 所	時 間
川合まちづくりセンター	13:30~15:00
富山まちづくりセンター	18:00~19:30
長久まちづくりセンター	18:00~19:30
北三瓶まちづくりセンター	18:00~19:30
大森まちづくりセンター	13:30~15:00
湯里まちづくりセンター	13:30~15:00
宅野まちづくりセンター	13:30~15:00

会場の指定はありませんので、どの会場にでもお出かけください。

昨年度の様子



議会傍聴のご案内

次の定例会は**6月9日~23日**の予定です。市議会を身近に感じる良い機会です。お気軽にお越しください。

- ◇傍聴席は定員64人です。
- ◇多数で傍聴に来られる場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

編集後記

3月議会で三瓶高原線の辺地整備計画が示されたので「アイリスラインだね。」と答えたところ、議員控室では「久しぶりに聞いたわ」と話題になった。

その夜三瓶アイリスラインをネット検索したところ、2013年に日本の86選定峠に選ばれているようだ。車載動画までも発信されている。三瓶周辺の風景は自然な風景だが、映像で見ればまた大田市の素晴らしさが伝わる。

アイリスの花言葉「吉報・希望」とともに4月号に寄せる。

(松村 信之)

広報広聴委員会

委員長 木村 幸司
副委員長 塩谷 裕志
委員 月森 和弘
委員 大西 修
委員 松村 信之
委員 石田 洋治
委員 森山 明弘
委員 胡摩田 幸太
委員 森山 幸太

坂根印刷納